

ちょっとお調べください。故障かな?……とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	原因	処置
電源が入らない	差し込みプラグが抜けている	差し込みプラグをしっかり差し込んでください
薄く切れない	刃が切れない	刃物研磨してください
切り屑が多い	〃	〃
モーターが止まりやすい	〃	〃
運転中刃物がストップ	サーマルプロテクター作動(温度ヒューズ)	スイッチを切り30分程度待ってください

修理サービスおよび保証(保証書)について

修理サービスについて	保証書について
<ul style="list-style-type: none"> ●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、差し込みプラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店または下記に、ご相談ください。なお、ご相談されるときは、HAPPYササガキ・GOC-45型及びお買いあげの時期をお忘れなくお知らせください。 ●保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。 ●このHAPPYササガキ・GOC-45型に使用している部品は、性能向上などのために一部予告なしに変更することがあります。 ■保証期間内でも次の場合には有料になります。 <ul style="list-style-type: none"> (イ)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。 (ロ)お買上げ後の落下などによる故障および損傷。 (ハ)火災・地震・風水害・落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。 	<p>このHAPPYササガキ・GOC-45型には「保証書」がついています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保証書はお買いあげの販売店でお渡ししますから、記載内容をご確認のうえたいせつに保管してください。 ●保証書にお買いあげ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときはすぐにお買いあげの販売店にお申し出ください。 ●万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買いあげの販売店が無料修理いたします。 ●このHAPPYササガキ・GOC-45型の保証期間はお買いあげいただいた日から1年です。
<p>販売元 株式会社 シンガーハッピージャパン 〒110-0016 東京都台東区台東2-9-5 TEL.03-3833-5020 FAX.03-3834-1636 E-mail:foodmachine@singerhappy.co.jp URL:http://www.singerhappy.co.jp</p>	<p>製造元 ハッピー工業株式会社 〒990-2251 山形市立谷川3-3515 TEL.023-686-2251 FAX.023-686-2215</p>

保証書

型名	HAPPYササガキ・GOC-45型		
保証期間	1年間	お買上げ日	年 月 日
ご愛用者	ご住所 ご芳名	〒	TEL()
販売店	住所 店名	〒	TEL()

ハッピー ササガキ GOC-45 取扱説明書



ついに出了!
卓上小型、ゴボーの
自動ササガキ機。
面倒なゴボーの
ササガキ作りが簡単に……。
斜め切りもOK。
角度・厚さ調節付き。



安全上のご注意



ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

この注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味

	分解禁止	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	コンセントを抜く	●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。	水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の恐れがあります。
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない 火傷、感電、けがをすることがあります。	刃物は鋭利なので、刃先には直接手を触れない けがをすることがあります。
運転中、停止中にかかわらず、食品出口に手指等入れない けがをすることがあります。	運転中、停止中にかかわらず、ゴボウホルダ一部の下には手などを置かない けがをすることがあります。

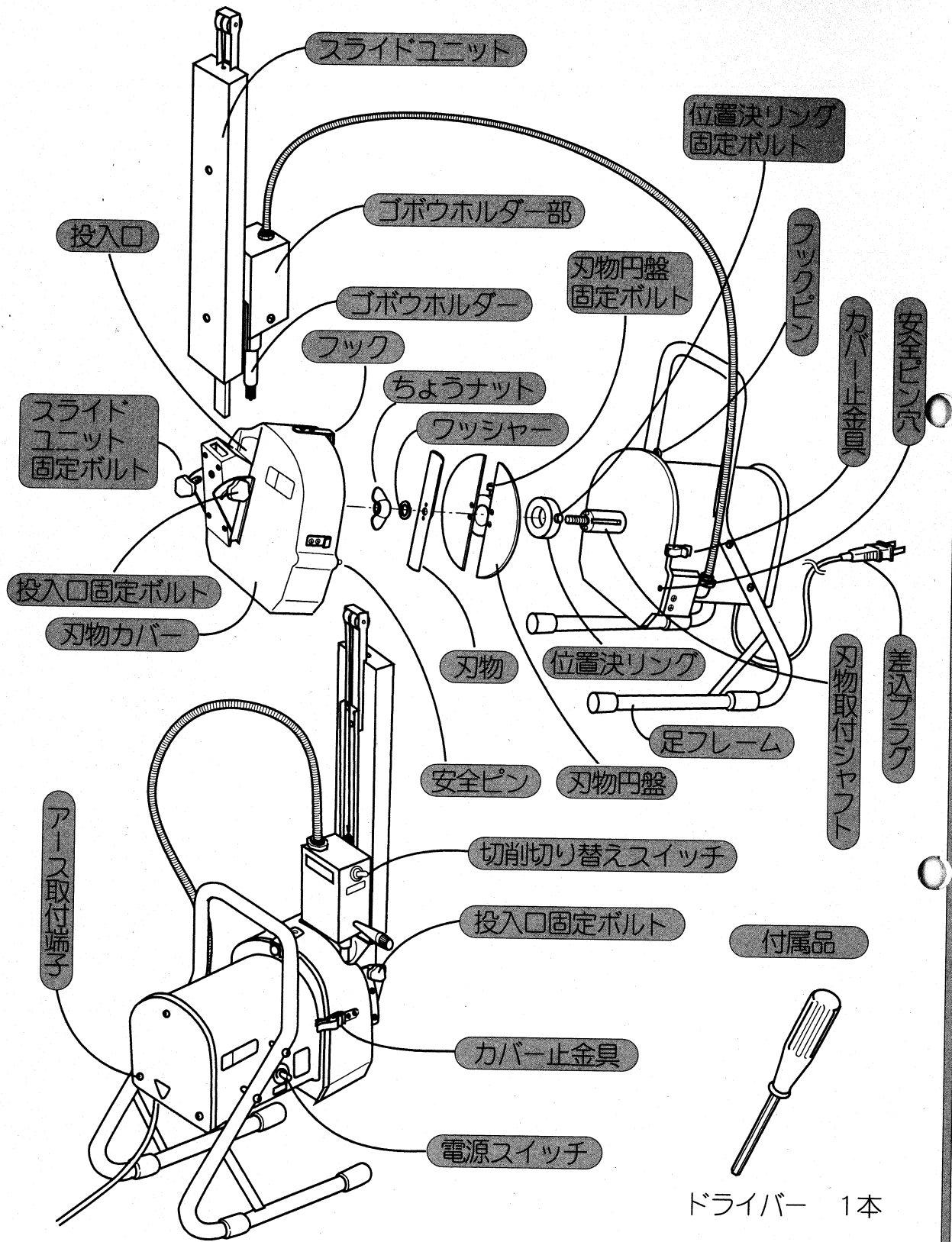
安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

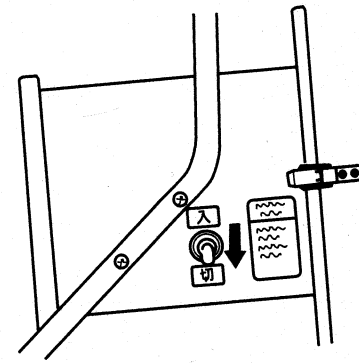
注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電やショートして発火する事があります。	スイッチ「切」を確かめてから、電源プラグを抜き差しする けがの原因となります。
カバー内に付いた調理材を取り出すときは、カッターを取り外してからにする けがをする恐れがあります。	運転中に調理材料を、指やはし等で押し込んだり、中に入れたりしない けが、故障の原因となります。
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟みこんだりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。	交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因となります。
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。	運転中に移動させない けがの原因となります。
刃物カバーを閉め、ゴボウホルダ一部を取付けているとき以外はスイッチを入れない けがをすることがあります。	不安定なところでは使用しない けがの原因となります。
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けが、やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。	部品の取付け、取外し及びお手入れをするときは、スイッチを切り、プラグを抜く けがをすることがあります。

各部の名前

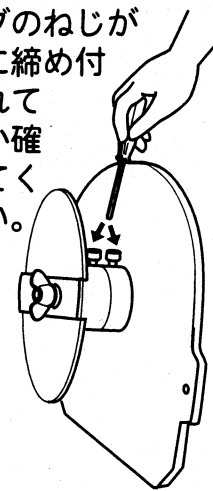


お使いいただく前の準備

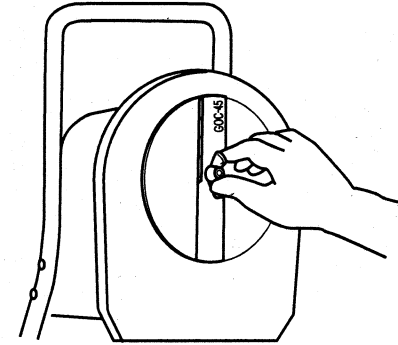


- ①機械は平で安定したところに置いてください。
- ②電源スイッチは「切」の状態になっているか確認してください。
- ③刃物円盤をスライスする厚さに設定してください。
(スライス厚さ設定のしかた参照)

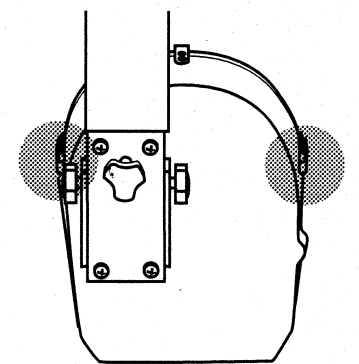
④刃物円盤と位置決めリングのねじが確実に締め付けられているか確認してください。



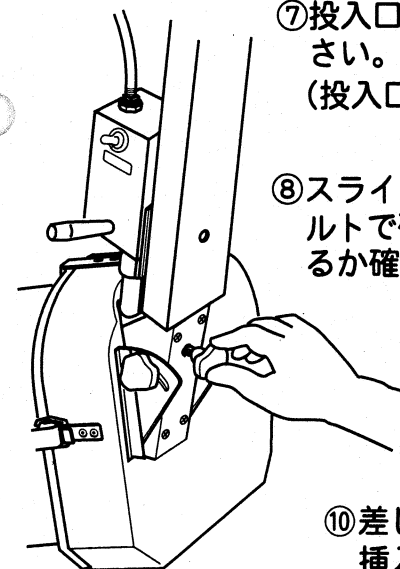
⑤刃物は、印字のあるほうが手前側で、確実に締め付けられているか確認してください。



⑥刃物カバーは2箇所のカバー止金具で確実に閉められているか確認してください。

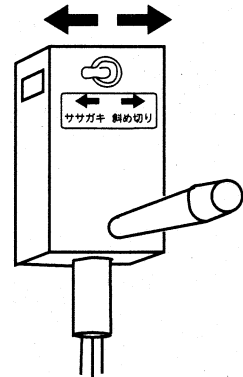


⑦投入口の傾きを設定してください。
(投入口の傾きのしかた参照)

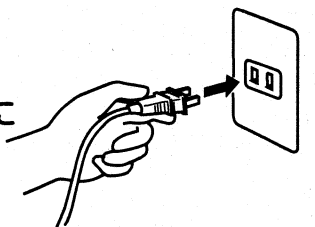


⑧スライドユニットは、固定ボルトで確実に締め付けられているか確認してください。

⑨切削切り替えスイッチを「ササガキ、または「斜め切り、」のどちらかに設定してください。



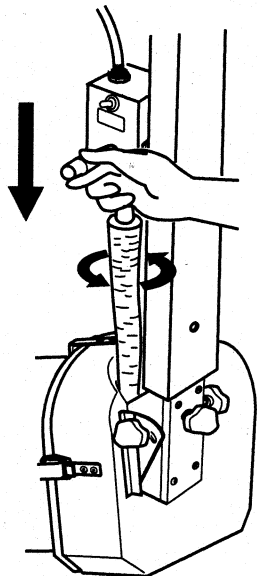
⑩差し込みプラグはコンセントに確実に挿入されているか確認してください。



正しい使い方

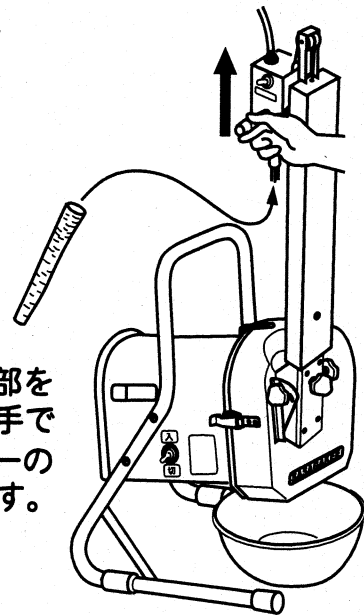
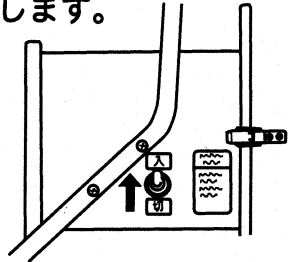
- ①スライスするごぼうを水洗いして汚れを取り除き、長さ35cmくらいに切り揃えておきます。
- ②機械のごぼう出口にボール等の容器を置きます。
- ③切削切り替えスイッチを「ササガキ」または「斜め切り」に設定します。

※注 切削中は絶対にスイッチを切り替えないでください。



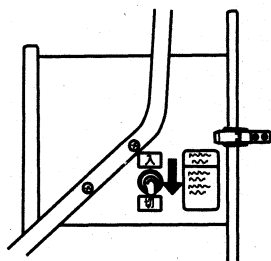
- ④右手でごぼうホルダー部を上方へスライドさせ左手でごぼうをごぼうホルダーの中心に奥まで差込みます。

- ⑤電源スイッチを「入」にします。



- ⑥刃物とごぼうが回転したら、ごぼうホルダー部をゆっくり下方へスライドさせ、ごぼうを刃物に当てます。

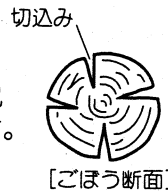
(切削切り替えスイッチを「斜め切り」に設定した場合ごぼうは回転しません。)



- ⑦ごぼうが刃物に当たったら、静かにごぼうホルダー部から右手を離してください。後は自重で最後までスライスされます。
- ⑧スライスが終わったらスイッチを「切」にし、ごぼうホルダー部を上部へスライドさせ、残ったごぼうをホルダーから取除いてください。

- ⑦ごぼうが刃物に当たったら、静かにごぼうホルダー部から右手を離してください。後は自重で最後までスライスされます。

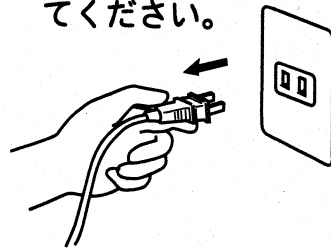
※特別に細かいササガキにしたい時は、ごぼうに包丁で切込みを入れると極細のササガキができます。



※注 無理に力を加えないでください。機械の停止、故障の原因になります。

※注 連続して長時間使用し、モーターの温度が上がり過ぎると、プロテクターが働いて自動的に刃物の回転が止まる場合があります。この場合スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜いて、作業を中止してください。(プロテクターは30分程で自動的に復帰します。)

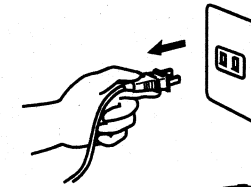
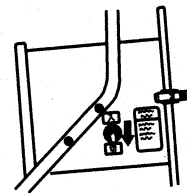
- ⑨作業終了後、必ずコンセントから差込みプラグを抜いてください。



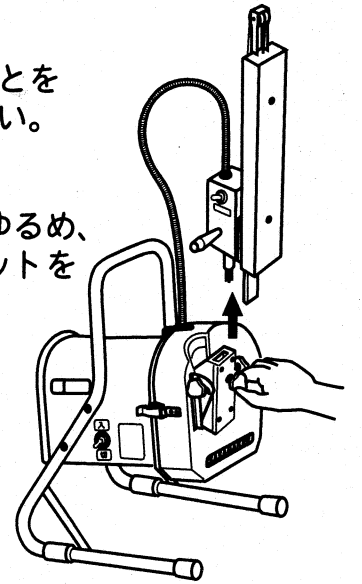
刃物カバーの着脱のしかた

■外し方

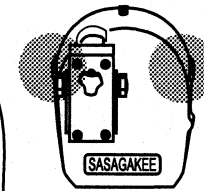
●電源スイッチが「切」になっていることを確認し、差込みプラグを抜いてください。



- ①固定ボルトをゆるめ、スライドユニットを取外します。



- ②刃物カバーの2箇所のカバー止め金具を外します。

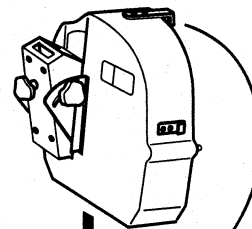


- ③刃物カバーの両脇を持ち、下方に5mmほどの隙間が出るくらい手前に引き、そのままゆっくり上方にスライドさせて取外します。

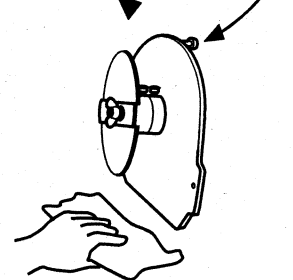
※注 カバー上部のフックが変形しますので、必要以上の力を加えないでください。

■着け方

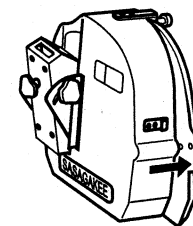
- ①刃物カバーと本体の合せ面に切りカス等が付いていないことを確認します。(切りカス等が付いている時は、取り除いてください。)



- ②刃物カバー上部のフックと、フックピンの位置を合せ、そのまま下方にスライドさせます。



- ③刃物カバーの安全ピンと、本体のピン穴を合せ、2箇所のカバー止め金具で閉めます。

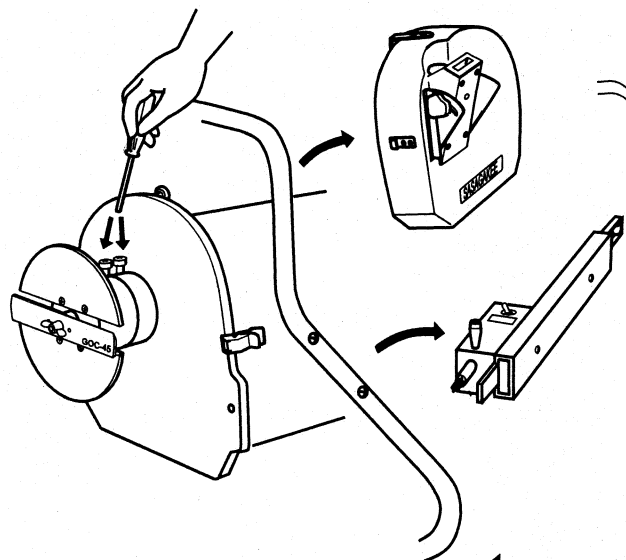


※注 刃物カバーの着脱は危険ですので、必ずスライドユニットを取外して行ってください。

スライス厚さ設定のしかた

●電源スイッチが「切」になっていることを確認し、差込みプラグを抜いてください。

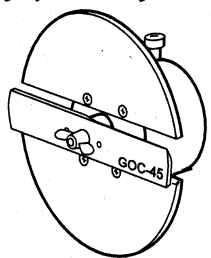
①スライドユニットと刃物カバーを取外します。



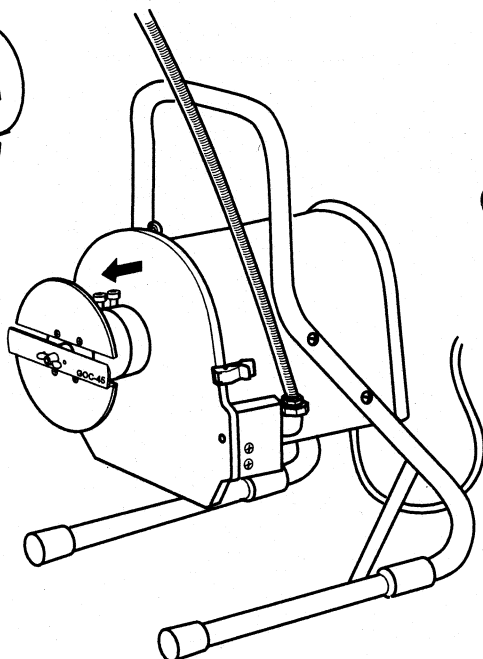
②刃物はそのままで、付属品のドライバーで、刃物円盤と位置決めリングのボルトをゆるめます。

← うすい →
→ あつい ←

③刃物円盤を前後にスライドさせ、スライス厚さを決め、円盤のボルトを締付けます。
(円盤と刃物の高さの差で、スライスする厚さを0~3mmと任意に設定できます。)



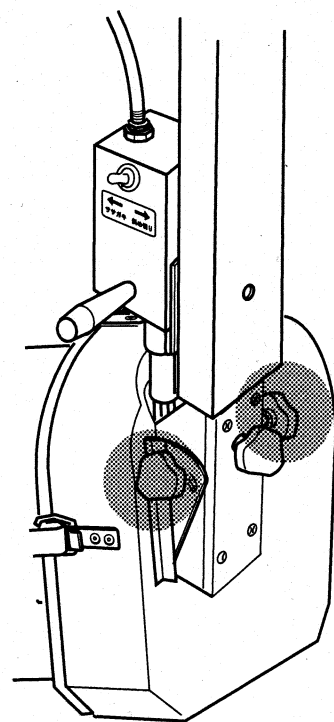
④位置決めリングをスライドさせ、刃物円盤と密着させてリングのボルトを締付けます。
(お手入れなどの時は、刃物円盤のみを取外してください。位置決めリングを外さない限り、刃物円盤をリングに当てボルトを締付ければ、同じ厚さに切れるように設定できます。)



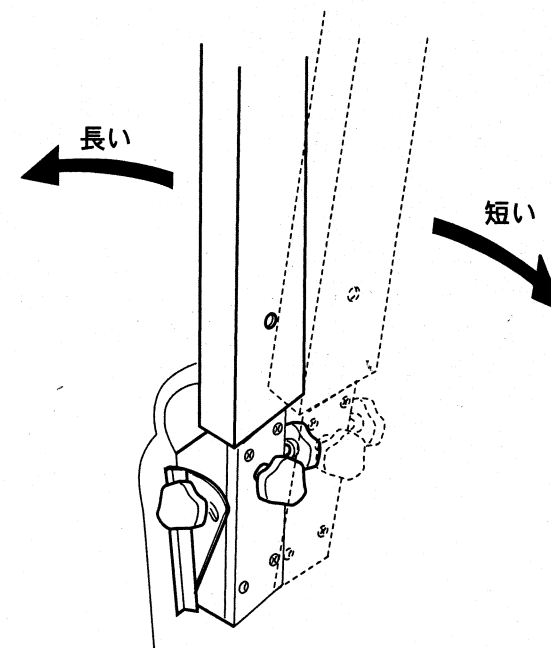
※注 刃物は鋭利なので、取扱いは充分注意してください。

投入口の傾き設定のしかた

①投入口固定ボルト 2箇所をゆるめます。



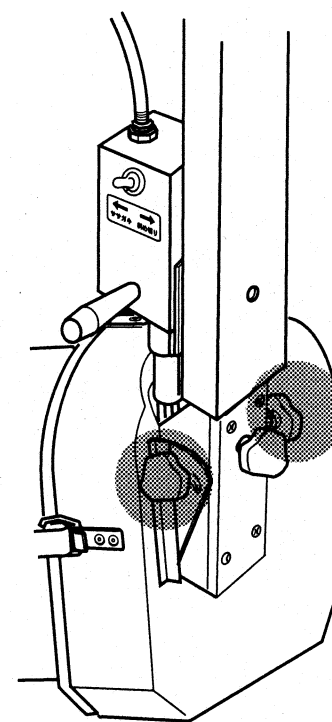
②投入口を前後に動かすことにより、傾きが変わります。
(使用するごぼうの太さ、スライスする長さにより傾きを設定してください。)



●前に傾けた場合短くスライスされます。
●後ろに立てた場合長くスライスされます。

※傾きが同じ場合でも使用するごぼうの太さで、スライスされる長さが変わります。

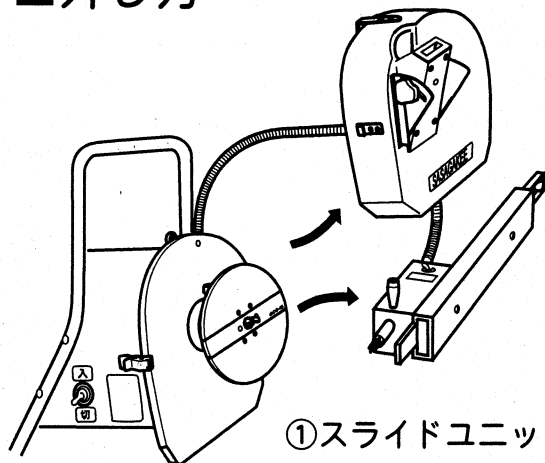
③設定終了後、2箇所の投入口固定ボルトを締付けます。



刃物の着脱のしかた

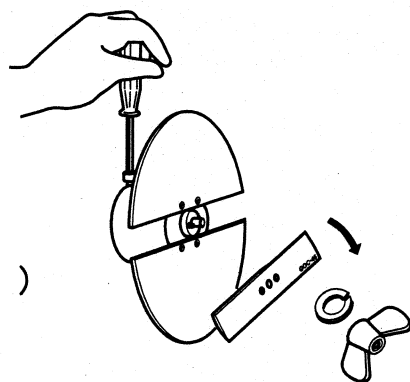
■外し方

●電源スイッチが「切」になっていることを確認し、差し込みプラグを抜いてください。



①スライドユニットと刃物カバーを取外します。

②付属品のドライバーを刃物円盤のボルトの穴に差し込み、ちょうナットを取外します。

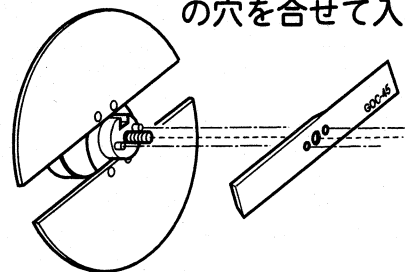


③ワッシャーと刃物を取外します。
(ワッシャーは無くさないようご注意ください。無くしますと刃物の固定ができなくなります。)

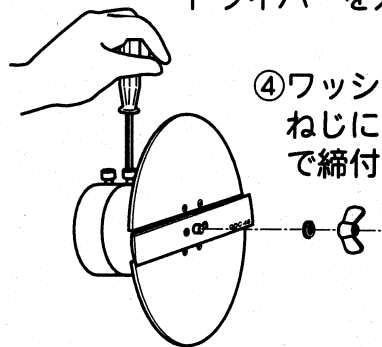
■着け方

①シャフトの刃物取付け面に、切りカス等が付いていないことを確認します。
(切りカス等がある場合取除く)

②刃物の印字のある面が手前側になるようにし、シャフトのピンに刃物の穴を合せて入れます。



③刃物円盤のボルトの穴にドライバーを入れます。



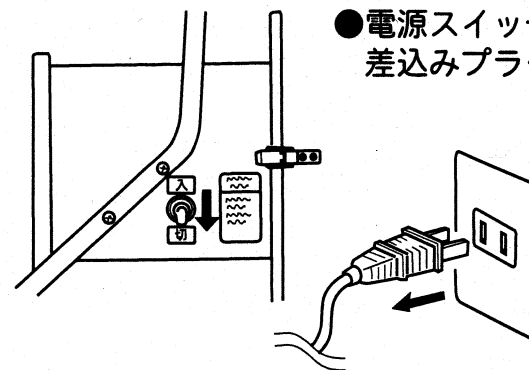
④ワッシャーをシャフトのねじに入れちょうナットで締付けます。

※注 ・危険ですので刃物円盤を持つての、刃物の取付け取外しは絶対に行わないでください。
・刃物は鋭利ですので取扱いは充分注意してください。

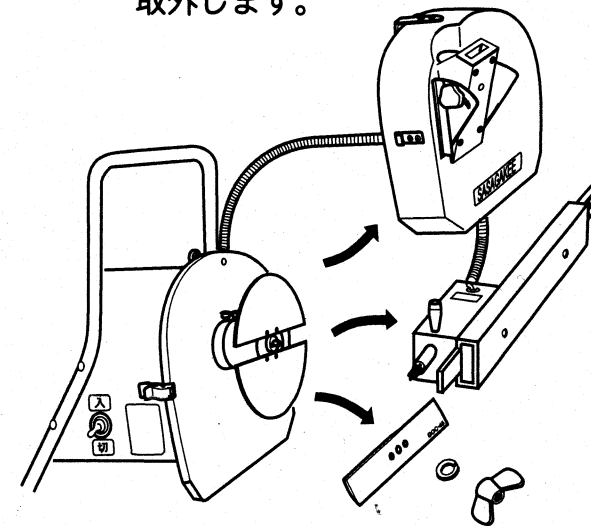
刃物円盤の着脱のしかた

■外し方

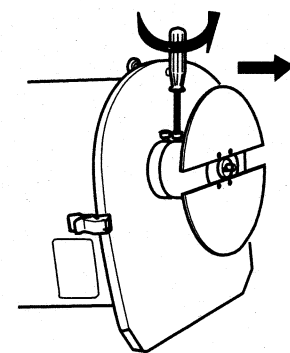
●電源スイッチが「切」になっていることを確認し、差し込みプラグを抜いてください。



①刃物の着脱の手順で刃物まで取外します。



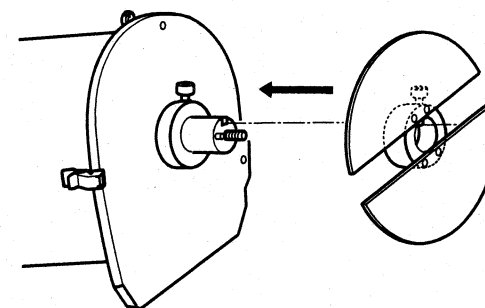
②ドライバーで刃物円盤のボルトをゆるめ、手前に引いて取外します。



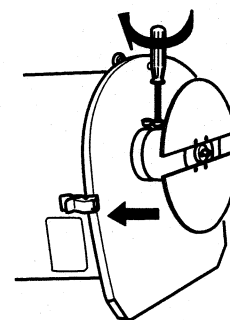
■着け方

①刃物取付けシャフトの溝部及び、刃物円盤と位置決めリングの合せ面に、切りカス等が無いことを確認します。
(切りカス等がある場合取除く)

②刃物円盤のボルトのねじを内側に1mm程出し、刃物取付けシャフトの溝に合せて奥に入れます。



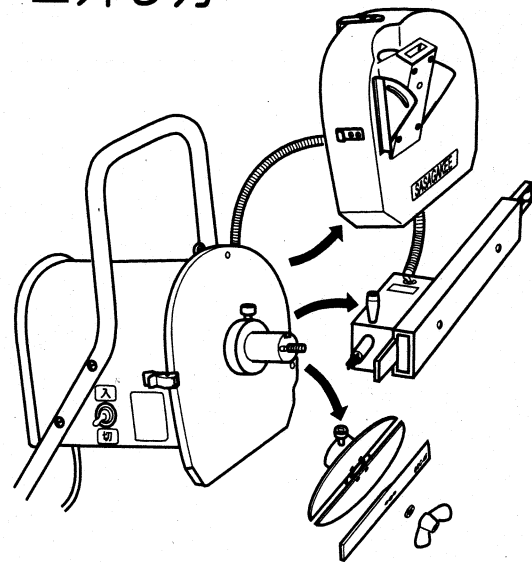
③刃物円盤を位置決めリングに当て、円盤のボルトを締付けます。
(刃物円盤を取り外す前と、同じ厚さ設定が簡単にできます。)



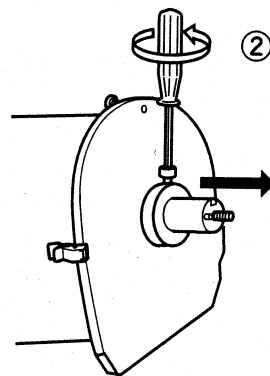
位置決めリングの着脱のしかた

■外し方

(普段取外しは行いませんが、お手入れなどでやむなく取外されるときのみ、下記の手順で行ってください。)



①刃物円盤着脱のしかたの手順で、刃物円盤まで取外します。

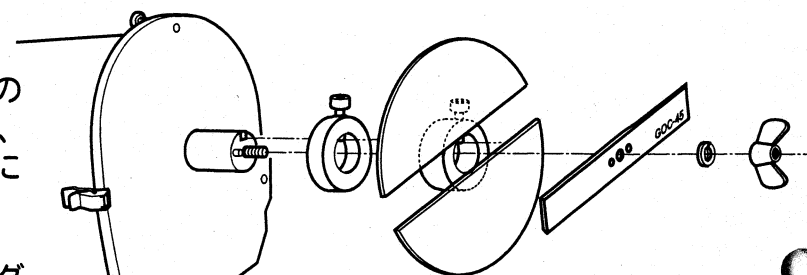


②位置決めリングを刃物円盤と同じ手順で取外します。

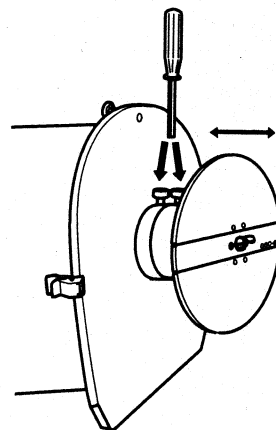
■着け方

①刃物取付けシャフトの溝部に、切りカス等が無いことを確認します。(切りカス等がある場合取除く)

②位置決めリングのボルトのねじを内側に1mm程出し、刃物取付けシャフトの溝に合せて奥に入れます。



③刃物円盤と位置決めリングの合せ面に、切りカス等が無いことを確認します。(切りカス等がある場合取除く)



④刃物円盤も同様に、シャフトの溝に合せて奥に入れます。

⑤シャフトの刃物取付け面に切りカス等が無いことを確認します。(切りカス等がある場合取除く)

⑥刃物を取付けます。

⑦スライス厚さの設定をします。(スライス厚さの設定のしかた参照)

お手入れのしかた

●スイッチが「切」になっていることを確認し、差し込みプラグを抜いてください。

①スライドユニットと刃物カバーを取外します。

②刃物を取外します。

③刃物円盤を取外します。

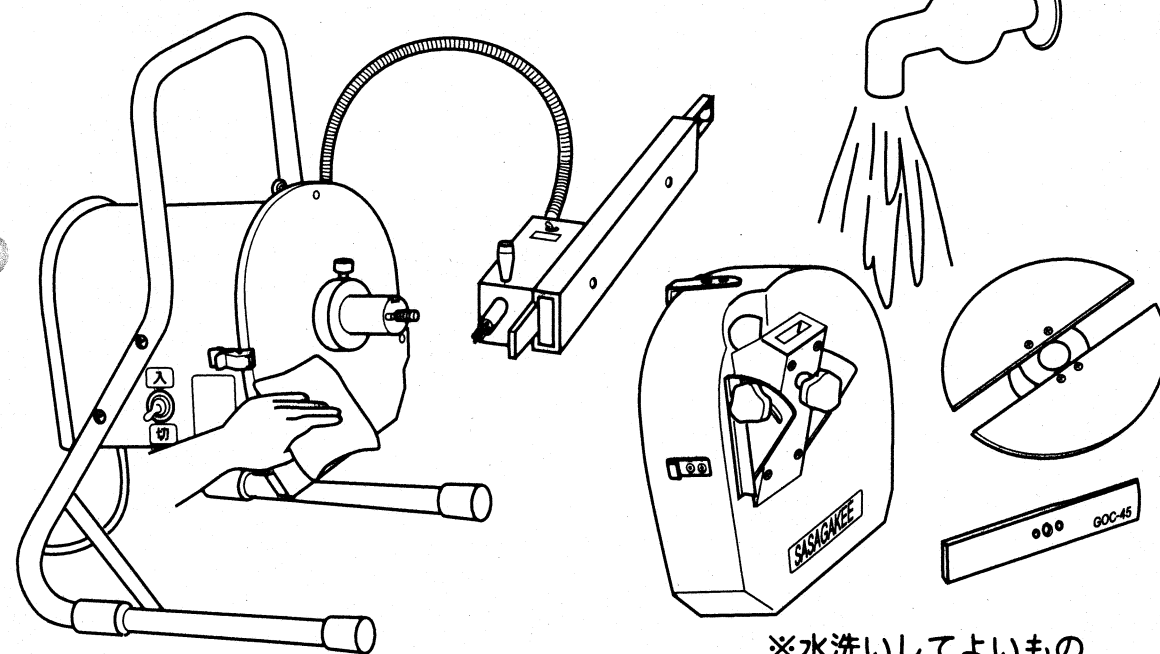
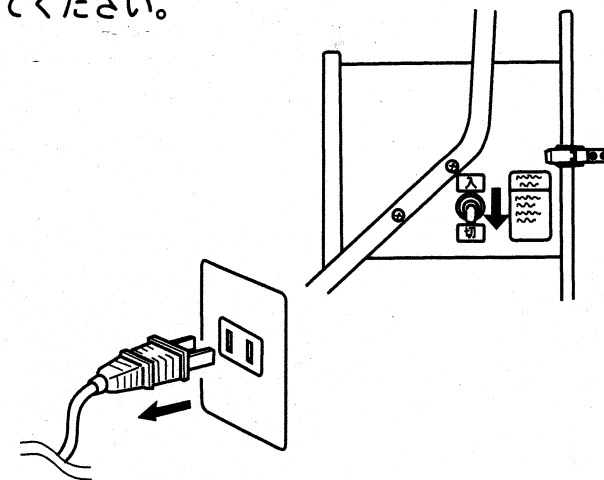
④刃物カバー・刃物・刃物円盤は水洗いしてください。

※注 刃物は鋭利ですので取扱いは充分注意してください。

⑤本体・スライドユニットは、かたく絞ったタオル等で汚れを抜き取ってください。

※注 危険ですので、本体・スライドユニットには絶対水をかけないでください。

⑥刃物の研磨は包丁と同じように、砥石で行ってください。



※水洗いしてわるいもの

※水洗いしてよいもの
(洗剤を使用する場合は、必ず中性洗剤をご使用ください。)